

一般社団法人 大曲青年会議所 2018年度

まちづくり委員会 事業計画（案）

見つめなおそう、地域のたから

まちづくり委員会

委員長 扇田 亮

私達の住み暮らす大仙郷には豊かな自然資源、四季折々の祭りや音楽等の文化、ひとや街並みという沢山の魅力がありますが、多くの方々は、この地域のたからを当然に思い、発信することは控えめで、若い世代にもまちの魅力を見出せない方々がいます。大仙郷の沢山の魅力を知り共に考え、世代を超えて誇りをもって地域発信をし続け、郷土愛をもって住み続けたいと思えるまちを創り、ひとの流出を防ぐべく行動をしなければなりません。

まずは、この大仙郷にあるまちの現状を知るために、自然や歴史文化、ひとや街並みについて足を使い、資源を洗い出します。そして、このまちに住み暮らすひととしての誇りと郷土愛を醸成するために、地元の方やまちづくりに対外的な知見をもつ方々との融合を通してまちの魅力を改めて認識する機会を創出し、魅力ある大仙郷を共に発信できる人材と連携します。さらに、まちの繁栄、魅力創出を願い活動されている地元の方々や諸団体、大仙郷外から移住された方々等と情報交換を行うために、食や音楽等の地域資源を用い、屈託なくまちの現状問題や魅力を共感、共有する機会を創出します。また、同じ志をもった方々や諸団体の皆様と会員拡大の協力体制を整えるために、大仙郷の魅力を様々なネットワークを通して共に発信していき、信頼を深めます。そして、全日本残月花火選手権大会の歴史と伝統を次世代へと継承し伝播するために、残月花火の違った見方を考え提案し、参加者のみならず、関わった全ての方々、ひいては大仙郷に住まうすべての方々に残月花火というものが、地域に残る歴史的伝統文化であることを魅力として認識します。

私達が積極的に大仙郷の魅力を発見して学び、ひとや団体との連携がひろがり、地域住民の愛郷心を育む特色のあるまちづくりが行われ、その運動が地域のたからを見つめなおすことに繋がり、地域が一体となり、将来の大仙郷を明るい豊かな地域へと築きあげます。

【事業計画】

1. 広域的・公益的な地域発展に関する事項
2. 全日本残月花火選手権大会の企画・実施
3. 地域の特徴を活かした事業への積極的参加及び諸団体との連携
4. 会員拡大に関する事項
5. J C説明会の会場設営に関する事項